

次期総合計画タウンミーティング（南区）開催報告

開催報告

1. 日 時 : 平成 30 年 11 月 3 日（土） 14:00~16:02
2. 場 所 : 南区役所講堂
3. 出席者 : 河村市長、河野南区長、総務局松雄企画調整監、総務局難波企画部長、
総務局鈴木企画課長
4. コーディネーター : 池田 哲也氏（（一社）地域問題研究所主任研究員）
5. 参加者 : 80 名
6. プログラム
 - (1) 開会
 - (2) 市長あいさつ
 - (3) 名古屋市次期総合計画中間案の説明（映像）
 - (4) ご意見・ご提案の聴取
 - (5) 閉会

7. 発言の記録

○市長あいさつ

【市長】

- ・よくおいでいただきまして、サンキューベリーマッチということでございます。
- ・私も今日かしこくも 70 歳になります。ありがたいことでございます。70 いうと、30、40 のころはどえらい年配だなと思ってましたけど、なってみるとあんまり変わらん、ほとんど変わらんということでございます。いろいろほんでも人生生きてきましたし。
- ・名古屋ずっと 400 年続くもんで、この名古屋のまちを。昨日のミーティングでありましたけど、誇り高き、まっとう誇れるまちにしよまいというのは、昔のお嬢さんが力んでござったのが印象的でございます、わしもそういう思いでございます。
- ・今日の案はいろいろ出てきますけど、これは中間案といって役人が、役人って感じ悪いけど、個性的なというわけじゃないけど。私はまっとう言いたいこと幾らでもあるんだけど、それいかん言わさせるもんだで、どうもなれせんでいかんわ。ほんとは市長は市長のあれでやってかな、何のために選挙やったんだということになりますわ、これ本当に。あんまりこだわらんように、言いたいことをどんどんおっしゃってちょうだいと。
- ・南区でございますので、南区は万葉集のころはどえりゃあ風光明媚なとこだったと。ずーっと海が入ったりましてですね。万葉集でいろんな歌が、年魚市潟（あゆちがた）のあれがありますわね、有名な。「鶴（たづ）鳴き渡る年魚市潟」って、鶴が飛んできたり。それだけ海が近かったもんで反対に災害ということについては、伊勢湾台風のときに、特にあれは白水小学校だわな、一番被害が注目された。流木が流れてきて小さい子がようけ亡くなられたという大悲劇を経験しておりますんで、そこらのとこは、こっちはこっちで。今は、もう一回伊勢湾台風が来ても大丈夫かと、同じのが来てもと。今んとこ名古屋港管理組合は「大丈夫だ」と言ったりします。堤防等によって、家自体も変

わってきとるもんでということでございます。

- ・そういうことで、しっかりやっとりましますけど、ぜひ忌憚ないというか、どうぞご自由なといひますか、ご意見をお待ちしております。
- ・今日はありがとうございます。

○ご意見・ご提案の聴取

【コーディネーター】

- ・本日コーディネーターを務めさせていただきます地域問題研究所の池田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・南区さんは、昨年度、地域福祉の関係で一度こちらで研修をお手伝いさせていただいたことがありまして、それ以来2度目のお邪魔になります。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・それでは、ただいま見ていただきました中間案について、早速皆さんと意見交換を進めてまいりたいと思います。大体の目安ですけれども、本日終了の時間が16時ですね、2時間の流れになっておりますので、15時45分ぐらいまでたっぷり80分ほどございますので、その中で少しテーマを区切りながら、皆さんから具体的なお意見を伺っていこうと思います。
- ・会場、周りを見ていただきますと、今日もいろんな世代の方にお集まりいただいておりますので、女性の方も、若い世代の方も、ベテランの方も、積極的にぜひご発言をお願いできればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・皆様には、まずお手元の「NAGOYAをつくろう！」という資料の5ページ、6ページ、先ほど見ていただきました5つの将来像のポイントがまとめてあります見開きのページを見ていただきながら、これから意見交換を進めてまいろうと思います。
- ・進め方でございますが、全体として都市像5つありますので3つに分けて、最初が都市像1と2、第2ラウンドが3と4、第3ラウンドが都市像5とその他全般ということで、その3つのパートに分けて順番に進めてまいりたいと思います。
- ・皆さん、関心のあるテーマ、ここかなというところがありましたらぜひそのパートのところでご発言いただければと思いますので、今から少し考えておいていただけるとよろしいかなと思います。
- ・今日はなるべく大勢の方にいろんな視点でご意見をいただきたいと思いますので、お手数ですが、まず一番お願いしたいところは、なかなか一言でというのは難しいですけれども、ほかの方の時間も大切にしていきたいので、ご発言いただくときは大体3分ぐらいでまとめていただくようお願いしたいと思います。ちょっと長くなりましたら私が巻きを入れるかもしれませんので、そのときはご容赦ください。
- ・ご発言いただくときに、挙手をいただきます。手を挙げていただきますと、私がお指名いたしますので、係の者がマイクをお持ちします。周りの方にも聞こえるようにゆっくり丁寧にお話しいただきたいと思います。それから、ご発言の冒頭で、ぜひお名前とお住まいをおっしゃってから中身のご発言をお願いいたします。ご発言が終わりましたら、また係の者がマイクをとりに伺いますので、そういった流れでご発言をお願いしたいと

思います。進め方についてはよろしいでしょうか。

- ・まず、先ほど申し上げましたように見開きのページの左側、都市像1「人権が尊重され、誰もがいきいきと暮らし、活躍できるまち」、下の都市像2「安心して子育てができ、子どもや若者が豊かに育つまち」、この2つの都市像についてご意見、ご提案をいただきたいと思います。
- ・ご意見、ご提案ある方、ぜひ遠慮なく挙手をお願いいたします。
- ・あちらの奥の方、お願いいたします。

【1人目（南区）】

- ・都市像1について、2点言いたいことがあります。
- ・まずはその前に、休日にもかかわらず、行政の皆様ようこそ運びいただきまして、ご苦労さまです。ありがとうございます。
- ・私、年金生活ですけれども、少ないものですから1年間に2,000円おまけしてあげるよというはがきとか通知が年1回来まして、それは本人が申請をここへ来てやらないと、2,000円おまけするよということはかなわないので。じゃあ、ひとり暮らしで、あるいは体が悪くてここまで足を運べない人の分はどうなるのと、答えが返ってこない。そういう人たちの分は、行政のところにお金が残るわけですよ。そのお金はどう使われるのというのと、これもまたわからない。
- ・私、その点を全部はがきを書いて市へお送りさせていただきました。もちろん住所氏名。年齢は書かなかったと思いますが、連絡先全部書いて送ったんですが、いまだに応答なし。数カ月たつかと思えます。ここの辺が、都市像1の「人権が尊重され」というところで、年寄りも大事にされるといふところにいささか引っかかっておりまして、ぜひご回答いただきたいと思っていますところですよ。
- ・2つ目、今受付で「休日出勤して、代休の日は決まっとるの」って聞いたら「いや」というお話でしたが、市の職員の皆さんも人権が保障されるまちであってほしい、大事にされるまちであってほしいと思えますので、こういう休日出勤など、皆さんも生活おありになるでしょうし、きちっと代休の日程をよろしくお願ひします。
- ・それが一番、華やかなまちって言われるより、うちのまちは暮らしやすいよ、働くのも大丈夫だよ、「いらっしゃいよ」と安心して言える、まちづくりそのものではないかと思っておりますが、よろしくお願ひいたします。
- ・以上です。

【コーディネーター】

- ・非常にわかりやすくご質問いただきました。ありがとうございます。
- ・こちらの方、マイクお願ひいたします。前のほうの方。

【2人目（緑区）】

- ・緑区の会場のときに私都合が悪いものですから今日お邪魔したんですが。
- ・こういう進行でちょっと面食らったんですが、こういうすばらしい計画を進める前に、区役所サービスの公平性についてのご意見を言いたいんですが、よろしゅうございます

でしょうか。

【コーディネーター】

- ・はい。どうぞ遠慮なくおっしゃってください。

【2人目】

- ・私の住む緑区は人口 24 万 6,000 人で、平成 27 年に 24 万人を突破し、今も増加しつづいています。一方、人口が最も少ない熱田区では 6 万 6,000 人で、これは緑区の 4 分の 1 の人口であります。では、区役所サービスを提供する区の職員はどうでしょうか。人口に見合った定数になっているのでしょうか。この点について、私は疑問を持っております。
- ・区役所は、市民に最も身近な行政機関として、市民と行政をつなぐ大事な窓口であり、パイプ役であります。市政行政のことなら、まず区役所に聞いてみようという市民も多くいます。仕事の内容はマンパワーで機能していると思いますが、職員数は非常に重要でございます。
- ・私の住んでいる緑区は、いつも大勢の区民がさまざまな手続をしており、窓口は相当混んでおります。下手すると時間が 1 時間、2 時間に及ぶことがあります。片や、よその区をちょっと覗いてみますと、閑散としている区もあるわけでございます。こういったバランスの悪いことは、市長さんが言われる世界一のサービス提供について、緑区は非常にサービスが悪いわけでございます。
- ・身近なことを言いますと、区政の委員長会の通知を、熱田区の方は 1 人で 7 通書けばいいですが、緑区の方は 1 人で 28 通書かなきゃいけないといったことがありますので、ぜひこういうすばらしい計画を立てるについて、適正な人員配置を考えていただきたいと思っております。
- ・参考までに、各区の職員の配置を全部まとめてあります。

【コーディネーター】

- ・ご準備いただいて、ありがとうございます。それも拝見しながら。
- ・都市像でいうとどこかというよりも、全般的な話かもしれませんね。ありがとうございます。
- ・もう 1 人 2 人お受けできると思いますが。
- ・お願いいたします。

【3人目（南区）】

- ・都市像 2「安心して子育てができ、子どもや若者が豊かに育つまち」という提案ですか、方針ありますが、例えば南区の場合、菊住小学校という非常に過大な、生徒が多い小学校があります。この前もここで学校をどうするかという話があったんですが、それはやっぱり学校と教育委員会にだけ問題が絞られているわけですよ。果たしてそんなことでいいんだろうかと、なぜ菊住小学校がそんなに過大になったのかと。つまり、新瑞橋というか、都市計画の問題でもあるんだろうと僕は思うんですね。

- ・特に都市計画で民間の開発会社、ディベロッパーがマンションを建てるとかいうときに、やっぱり一番基本になるのは水道とかガスとか電気とかいうインフラと、それから交通だとか、その他生活に必要なもろもろのものがかかっているわけです。そうすると、住宅都市局が建築確認のときにどういう指導をしているのか。
- ・つまり、名古屋市のこの地域においてはこういう住宅を建てるとか、こういう住宅がある場所ではこれぐらいの社会的な施設が必要だとか。特に子どもに関していえば、小学校、中学校、保育園が必要だということになるはずですね。それが全然なされていないので、片一方では大磯小学校といって1学級しかない学校があり、片方ではもう満杯で水泳もできないと、水泳も外部のプールに行っていてやっていると状況があるわけです。
- ・名古屋市の都市計画を立てるならもう一遍都市計画全体を、縦割り行政じゃなくて、マンションとか特に大規模に人口が増えるような場合どうするかということをやちゃんと指導するとか、そのための一つのひな形というか。少なくとも何人以上のマンションを建てると人口がこれぐらい増えるだろう、小学生がこれぐらい増えるだろう、若い人たちが来るならばこれだけ保育園が要るだろうといったことで、ほかの行政のセクションとも相談した都市像というか計画というかプランというか、そういうものがあってきちっとディベロッパーと詰めていくということがあってしかるべきじゃないかと思います。

【コーディネーター】

- ・極めて真っ当なご意見ありがとうございます。
- ・もうお一人ぐらい。
- ・前の方、お願いいたします。

【4人目（南区）】

- ・南区の長年の懸案事項で、名鉄電車の立体交差化があります。高架にするということで計画が進んでいるようですが、笠寺台地は歴史の遺産の宝庫でもあります。そういった観点から、高架じゃなくて地下トンネルで立体交差化を図ってほしい。山崎川と天白川を越えるところは当然高架、上を通すんでしょうけれども、呼続駅あたりから本星崎駅の間は地下トンネルで検討していただきたいということです。
- ・今言いました遺跡の保存にもなるでしょうし、高架にする場合は1線分その用地が必要になると思うんですけど、そういう用地買収のことなんか考えると、今のリニアでやろうとしている立坑を掘ってシールド工法でトンネルを掘り進めれば用地買収が少なく済んで、工費もひよっとするとトンネルのほうが安くなるんじゃないか。
- ・地下にすれば、そのあいたスペースは災害時の避難スペースにするとか有効利用できるわけです。そういった点でトンネル化。名古屋市も地下鉄でシールド工法の経験はあると思うので。それと、東京なんか例えば東急の渋谷駅でトンネルで地下に持っていかうという工事はもうあちらこちらでやっているわけですから、技術的にもそう問題はないんじゃないかなと思います。
- ・すぐそこを名鉄電車が今通っていますけど、環状線の上を名鉄がガードで越えていくわけですね。さらに高架にするといったら、その上に名鉄電車が通るわけですね。どう見

でもちょっと異様な感じになる。やはり将来を考えたら、名鉄電車の立体交差化は地下のトンネルで検討していただきたい。もう計画は遅れついで、何十年と遅れているみたいですが、名古屋市で最後に残った立体交差化はトンネル化で締めくくると。今日の将来の都市像にもフィットするんじゃないかと。よろしく検討をお願いします。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございました。
- ・一旦区切らせていただきまして、会場の皆さんと、どういうご質問があったか確認しましょう。
- ・1人目の方、2ついただきました。年金が2,000円お得、優遇される。私、不勉強で申し訳ありませんが。来られない方どうしているのというお話ですね、その方に対する対応。それから、職員の働き方もご心配いただきまして、ワーク・ライフ・バランス、安心・安全に働き続けられる環境をいかに整えるのかということ。
- ・2人目の方からは、人口に見合った適正な行政サービスを提供するための職員配置どうなっていますかというお話だったと思います。
- ・3人目の方からは、ディベロッパーとはいえ、適切な指導、誘導で施設の配置に応じた都市計画を適切にやっていくべきではないかというところ、インフラ、交通の話も少しいただきました。
- ・4人目の方からは、関連しますが、歴史・文化、さらには工費にも配慮した名鉄の地下化、トンネル化。
- ・4名の方から5つほどいただいたと思います。
- ・市長、よろしく願いいたします。

【市長】

- ・ありがとうございます。
- ・まず、1人目の方の、年金が2,000円おまけというのは、どういうふうになるだ、これは。おまけになるって。

【1人目】

- ・年金が少ないから、定額以下の方には、本人が届け出に来ると徴収金額が減るよという。

【市長】

- ・徴収を2,000円減らしてあげるよと。なるほど。こういうのがあるの知らなんだですけど。すみません。

【1人目】

- ・その手続で職員の方が手間と時間をとられるのは、余計な労働になるのはね。やることもっといっぱいあるでしょ。職員の仕事をもっと効率的にやるためにもこれは考え直していただきたいと思っております。

【市長】

- ・これ、役所で俺いつも言っとるんだけど、皆さんがいろいろご意見寄せてくるわけですね。市長室は特にようけ来ます、いろいろ。1日5つか10か来るときに、まずちゃんとどちらにせよ、匿名のとはいかんよ、記名してあるとこ連絡せよ言っとんの、これ。とにかく連絡してもらって、「ありがとう」言って。これから何じゃかんじゃ検討するなり何かしますで、また返事しますで待ってってちょうよと言わなかんのに。1人目の方が来れん人どうするんだって何遍も書いたけど、言わんと、何も言ってこうせんと。

【1人目】

- ・何も言ってこない。

【市長】

- ・そりゃいかんで、本当に。区長。

【区長】

- ・うちは必ず返事してますけど。

【市長】

- ・ほんときゃあ、おい。年金ということは、本庁のほうか。

【1人目】

- ・市役所宛てに、総務部長さんか誰かと。

【市長】

- ・ほんなら怒ったらなかんですわ、本当に。
- ・そこがね、僕ら政治でもそうだけど、やっぱり何かあったらまず、お手紙なりいただいたと、サンキューベリーマッチは言わないかんと、初めに一言。それから検討するということになるんでね。

【1人目】

- ・よろしくお願いします。

【市長】

- ・はい、それ言っときます。
- ・それから、市の職員が今日来た代休はちゃんととっとるか。えらい優しいね、あんたこれ。

【コーディネーター】

- ・初めてそんなこと言われましたね。

【市長】

- ・初めてだで、ありがたいな、これ市の職員。給料も高いんだで、これ。

【1人目】

- ・それだけの仕事してるんでしょ。

【市長】

- ・どうだ。後で答えてもらうわ。
- ・2人目の方の、区役所の職員数が人口割でちゃんとなつとらんのじゃないかということは、この表見てもようわかれせんけども、どうもそういうふうらしいんで、この辺もどういうふうに。やっぱりならすようにするんだろ、これ。市民経済、やっとなるでしょ。

【企画調整監】

- ・毎年毎年はできんもんで。

【市長】

- ・毎年はできんけど、そこそこはちゃんとやってかないかん。

【2人目】

- ・適正な配置は要るわね。

【市長】

- ・当たり前のことだもんで、これ。後でまたちょっと偉い様に答えてもらいます。
- ・3人目の方の。人口ごとに小学校の廃止だとか保育園だとか、いろんな社会的なインフラを一遍つくり直せいうことで。あれは、戦後大体予想して小学校なんかちょっとつくっていきこうと。だけど、60年70年たつと変わってくるもんで、まあ一回そういうのを見直そうということをやっとなるか、あれ。

【企画調整監】

- ・そういうプランをつくって。

【3人目】

- ・やっとならんでしょ。

【市長】

- ・やっとならんでしょ言われとるぞ。

【3人目】

- ・何で教育委員会だけがやっとなるの、おかしいじゃない。

【市長】

- ・後でちょっと答えてちょ。
- ・5年10年ごとにはちゃんと見直さなかんとは思いますが。
- ・名鉄を地下トンネルにしろというのは、わし、ちょっと申し訳ないけど知らなんだもんで、この問題は区長か、やっぱり。一応区長、立派な雰囲気でおりますんで、とりあえず区長から答えてもらいます。すみません。

【企画調整監】

- ・1人目の方、市職員に優しい言葉をかけていただいて、ありがとうございました。

【1人目】

- ・いつもご苦労さまでございます。

【企画調整監】

- ・私ども、市長に怒られることたくさんありますけど、市民の皆さんのために全力を挙げるのは当然だと思っておりますから、今後とも全力をかけて取り組んでまいりたいと思いますので、どうぞご支援いただきますようよろしくお願いいたします。
- ・先ほどいただいた件につきましては、私責任を持ってお聞きいたしまして、回答するように所管にもつなぎながら、必ず回答するようにいたしますので、また後から教えていただきたいと。

【1人目】

- ・コピーとってありますので。

【企画調整監】

- ・ありがとうございます。
- ・区役所のアンバランスの話でございますけれども、これも非常に大事だと思いますので。これは私どもの市民経済という、区政全体を統括するようなセクションがありますので、毎年毎年はできませんけれども、一定やっぱり区全体のバランスを見ながら定数の是正を行っているはずでございますし。また、大規模なところで支所がございまして。昔、支所では本区と違いまして市民の皆様の業務が全部できなかつたんですけど、今はコンピュータ化をしまして支所でも本区並みの業務ができるような形で改善しているということでございますので、今のご要望につきましては市民経済のほうに伝えさせていただきたいと思っております。

【2人目】

- ・試しに一遍見に来てください、区長。市民課、相談できんぐらいいっぱい。

【コーディネーター】

- ・徳重支所も結構たくさんいらっしゃいますもんね。

【2人目】

- ・そうだよ。遅いもんで怒ってばっかいて。

【企画調整監】

- ・申し訳ないです。拝見するように言います。
- ・過大校のお話をいただきまして。逆に言いますと、過小校と申しますか小規模校の問題もありますので。私ども、教育委員会が今年全体のプランをつくるとお聞きしております、当然そのときには将来の人口推計を見ながら、どういう適正な学校規模にするかということ当然にやるはずだもんですから、今のご要望につきましてもしっかりと教育委員会に伝えさせていただいて。

【3人目】

- ・この前の会合でも、まちづくりの話しかしない。
- ・具体的にどうするのかとか、そういうことも何も決まってない、これから決めると。

【企画調整監】

- ・貴重なご意見として必ず伝えさせていただきたいと思っておりますので、この場はお許しいただきたいと思っております。

【3人目】

- ・名古屋市全体の問題です。さっきの緑区の人口が増えたのも、小学校が増えたのも一緒でしょ。全然放ったらかしなんだよ。

【企画調整監】

- ・申しわけありません。伝えさせていただきます。

【市長】

- ・伝えるだけではいかん。

【3人目】

- ・検討というか、具体的にやっぱり出さんといかんと思うよ。

【コーディネーター】

- ・もう少し都市計画的な観点からも検討してほしい、そんな趣旨ですかね。ありがとうございます。

【企画部長】

- ・学校の関係ですけど、他の、例えば都市計画とかと連携して、リンクしてという部分も、

おっしゃっている部分が多分あるかと思います。我々、総合計画をつくりながら、例えば、このちょっと遅れて住宅都市局の関係で都市マスタープランをこれからつくっていくということもありまして、連携とかはしていかなきゃいけないんだと。この総合計画は一番上なものですから、そこから次のところに、下位計画になってしまいうんですけど、そういうところに落としていくということがございますので、そういう部分では全体としては連携をとらせていただこうかなと思っています。あわせて、ご意見いただきましたので、そういうところは伝えさせていただこうかと思っています。

【3人目】

- ・都市計画ね、都心の開発、再開発ができてたり、全体として、もう一遍、戦前につくった名古屋市の都計図みたいなやつあるでしょ、あれを見直すべきです。

【企画部長】

- ・今の状態でのマスタープランということになっていくと思いますので、ご意見を加味して。
- ・もう1つ、サービスの話です。確かに緑区さんは一気に人口が増えた部分がございます。徳重支所ができたというのも、そういう意味でございます。我々も、個別に今こうしますあしますとなかなか言えないんですけども、サービスの向上ということは計画の中でも見据えてまいりますので、その辺で、先ほど企画調整監も伝えていくと言いましたので、そういうところで進めていきたいなと思っています。
- ・地下の話ってこちらでしていいですか、向こうでいいですか。

【コーディネーター】

- ・もし何か一言ありましたら。

【区長】

- ・4人目の方、ご意見いただきましてありがとうございます。
- ・確かに笠寺台地のところは非常に歴史資産がたくさん集積しておるところでございますので、地下トンネルでという考え方はあろうかなと思います。ただ、今名鉄さんはどういうふうにご検討おられるのかということ、つぶさに私聞いておるわけではないですけども、沿線の学区の皆さんのご意見、ご意向も踏まえながら、どういう形にしていくのか、駅の高架どうするんだということも考えておられるんだと思います。私どもが直接タッチしておる事業というわけではないので、今、責任を持って地下トンネルを検討しますということはお答えできませんけれども、ご意見は今伺いましたので、機会を捉えてこういう意見をいただいたということをお伝えしたいと思います。
- ・ただ、シールド工法で比較的、昔ほど技術的なハードルも高くないんじゃないかというご意見も先ほどおっしゃっていただいて、そのとおりのかもしれませんけれども、経費としてはまだまだ随分、高架にした場合と地下トンネルにした場合では地下トンネルのほうが経費もかかるんじゃないかということも漏れ聞いておりますので、なかなかご意見そのまま実現する方向だというふうには、今そういう楽観的な言い方はできませんけれ

ども、ご意向としては十分承りましたので、きちんと伝えたいと思います。

【市長】

- ・まだ何にも議論しとらんの。

【フロア】

- ・いや、区長は何もそれ権限ないでしょ、実際に。それがいかんのよ。だって、山崎川から呼続の神社の下まで1キロメートルの構想、まだ決まってないんだよ。その点は決まったと言いながら、何の発表もないわけです。

【企画調整監】

- ・区長が申しあげたとおりでございますけれども、今4.3キロでしたでしょうか、呼続の駅から本星崎駅までの4.3キロ、そのうちの呼続の地区と本星崎の地区を先行して着手するといった計画を立てていると私どもは承っております。
- ・ただ、起点となります例の堀田の駅と鳴海の駅が高架になっているものですから、なかなかそこと接続するというのは、やっぱり名鉄といろんなことを協議しないかんもんですから、今のところは接続するために高架という形でお聞きしておりますけれども、区長が申しあげましたように、地下というお話も頂戴したものですから、一度やはり持ち帰って検討させていただきたいと思います。

【4人目】

- ・笠寺台地の間ですね。呼続のほうでいえば熊野三社、あのあたりで今名鉄電車は上り勾配で上がってきた。ですから、トンネル化する場合には逆にそのあたりで地下へ行く。南のほうは笠寺小学校のあたりですね、あのあたりが笠寺台地の端ですから下り勾配、そこを逆にトンネルから抜けて高架で上がっていくと。アイデアとしては、それが。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。現場をごらんになっていると、そういうやり方ができるんじゃないかというイメージもあるということですが、技術的な問題も、お金の問題もあるようですので、今日のところはこんな回答でご勘弁いただければと思います。

【4人目】

- ・検討してください。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・それでは、次の3、4についてご関心のある方、特に南区の場合いらっしゃると思いますので、第2ラウンドに進んでいきたいと思います。
- ・都市像3「人が支え合い、災害に強く安心・安全に暮らせるまち」ということで、ここは防災の話とか消防、救急、そういったテーマになろうかと思います。それから、都市

像 4「快適な都市環境と自然が調和したまち」ということで、これは環境に配慮したまちづくりとか低炭素、そういったキーワードも先ほど前の画面でも紹介されていました。都市像 3、都市像 4にかかわる話でご意見、ご提案ありましたら、お願いしたいと思います。

- ・一番最初に挙げていただきました、真ん中の。
- ・一斉に挙げたので、どなたを当てようか。
- ・お願いいたします。

【5人目（南区）】

- ・この総合計画の中でいろんなことが本当にあるんですけど、私は1つ、最優先のテーマとして自然と人とのつき合い方の問題が非常に大事ではないかなと、最重点の課題ではないかなと思っています。
- ・自然というと、癒しとか何とか言われるんですけど、今のテーマの中にありました災害の問題とかもひっくるめて、人が自然とどうかかわるかということが、長期的に見た場合に大きなこととして捉えないかんじゃないかと思います。
- ・私は、この10年ぐらいお隣の天白区の相生山緑地にかかわってきていまして、そこで自然観察をやったり、それだけじゃなくて、地元の農業をしている方といろいろ話をしたりつき合ったりして、その都度、気づいたこととかを市長さん宛てにも提案させていただきましたし、主に緑政の方とおつきいさせていただいて、いろんなことを私自身も学びましたし、市の方との意見交換もさせていただきました。
- ・そういう中でいくつか気づいていることがあるんですけど。昨日、たまたま時間があつたものですから中区のタウンミーティングにも出席させていただきました。そのときにカラスの問題がありました。都会、都心の中でカラスの問題。そのときに私たちはどう捉えるかということ、カラスが出てきて困るという話、どうやって防ぐかとかどうやって捕まえるかという話になるんですけど、カラスが何で都心の真ん中におるのかという話にはなかなか行かない。
- ・相生山でも、徳重の開発がされて、平針とか日進とかあのあたりの学区をずーっと、今でもまだ続いていますけど、開発されていったときに、すごい大量のカラスが相生山にどつとやってきた時期があったらしいです。今から数年前らしいです。つまり、ねぐらとか餌場がなくなった鳥たちはどこかに行かないとしようがない。そういう問題をどうするのかということ、抜きに、今こういう現象が起こっているでどうするかというふうに捉えるだけではあかんやろうと。先ほどから言われている問題は、全部言ってみればそういうことだと思っんです。私は自然をテーマに言っていますが、全体として捉えてどうするのかというアクションをとらないといけないんじゃないかということがずっと言われているような気がしています。
- ・私は、よいしょするわけじゃないですけど、河村市長が登場したときに「ストップ・アンド・シンク」と言われた。相生山もその1つに入りましたけど、それはすごくいいなと思って、その姿勢が河村市長が受けた理由の1つだと私は思っています。
- ・今までやったことが全部どうなんだろうと、今の時点で一遍止まって考えてみる。それが全部止めちゃったらいかなだろうけれども、やっぱり課題的には考えて、止めて、そ

の都度考えてどうなのかというふうにやっていく姿勢がすごく大事だろうと。長期計画を立てて、総合計画を立てて、また止まって考える、また止まって考える、でアクションになる。そういう姿勢の連続が必要だと思っていて、そのためには、私は、市長さんがよく言われるんだけど、寝んとどうやったら楽しい名古屋になるか考えとると言わさせるけど、今日も非常にいいなと思ってるのは、この場で、フラットな場で対話ができているじゃないですか。市民と名古屋市と、トップの市長さんも含めて、市議さんもいらっしやる中で、みんなで話し合っって何とかしていこうという姿勢がある、これをもっと広めていく必要があると思うんです。

- だから、市長さんが1人で考えることもすごく大事なんだけど、市長さんが考えていたのは市民の声をどうやって吸い上げればいいのかと、答えは市民が持っているんじゃないかと。だから、その点を、タウンミーティングだけじゃなくて、あまりにも少ないじゃないですか。もっと市民の声はどうやったら集まるのか考えていただきたいと思います。
- まとめさせていただきますけれども、相生山に関していえば2014年12月26日に市長さんがストップだと、都市計画ストップだと、道路計画ストップだと言われて、速やかに都市計画を見直しすると言ったけど、それから4年たってなかなか進んでいない。その間に、私たち市民に市がこういうふうに考えている、こういうふうに判断した、おまえさんたちどう考えるという説明会が開かれないうままになっています。そのための検討会議もこの2月に、市民への説明会をどうするかというふうに、これから考えましょうといった時点で止まっちゃっています。相生山にかかわってきた者としては、ちょっと疲れてきた。大概にしてくれと。こんな名古屋市だったら愛想尽きるという感じになっています。
- 総合計画で例えばリニアの話が出た。だけど、リニアが本当に必要なのか、できるのか。東南海地震とか何とかと言われていっている中で、それをつくる必要があるのかということもひっくるめて、先ほどの映像の中に出てきたことが全て前提のようになっているけれど、長期総合計画といったときに、そこが本当に大事なのかどうなのかはもう一回見直してもいいのかなと思っています。

【コーディネーター】

- そろそろよろしいでしょうか。

【5人目】

- わかりました。
- よろしくご検討ください。

【コーディネーター】

- ありがとうございます。
- 先ほどたくさん手が挙がったので。
- なるべく全員の方にご発言いただきたいので、手短にお願いしてもよろしいですか。無理を承知で。

- ・ 一番前の方、マイクをお持ちください。
- ・ 全員回らないかもしれませんが、ご容赦ください。

【6人目（南区）】

- ・ 職人ですからあまり難しいことはわかりませんが、私は今、南友会に参加させて…。

【コーディネーター】

- ・ 南友会。

【6人目】

- ・ 南友会という会が南区にあります。

【コーディネーター】

- ・ 区役所を応援してくださる会。

【6人目】

- ・ はい、その会が南友会という会。そこに所属しております。
- ・ 皆さんいろんなことを今日も、確かにいいことだと思うんですが。私は南友会の一員として、私が名古屋に来たときに電車が走ってたんですよ、桜本町からずーっとガイシホールの方まで。カタンカタンというような。だから、何としても南区に、笠寺観音から区役所から南署、ガイシホールとずっと向こうにまず地下鉄を通してほしい。今計画が名古屋にあるかどうかどうなるかわかりませんが、将来若い者にタッチするのに、私たちが頑張って、とにかく南区に地下鉄を引いてやるんだと。東京から電車でどうだとかああだとか名鉄の話もありますが、どうしても将来地下鉄を引く計画を南区につくってほしい。市長、命のあるうちに頼むね。

【コーディネーター】

- ・ 市長、一番近いところからラブコールが。

【6人目】

- ・ 終わります。

【コーディネーター】

- ・ 手短にありがとうございます。
- ・ じゃ、こちらの。

【7人目（南区）】

- ・ 最初、このところで質問しようと思ってたんですけども、先に名鉄の話が出てきたので、その点について私もう一度お伺いしたいです。
- ・ 一番問題に感じたのは、東海通と名鉄の交差点のところに踏切があります。あそこ、朝

すごい渋滞しているんです。もう1つ、名鉄が1号線の近くのところの、星崎のところの踏切のところも同じような状況になっています。あれを見て、高架化しなければならないなということ。

- ・最初、市議員に連絡させていただいたんですけれども、あまり思わしい回答を得られなかったです。それで、しょうがないので、名鉄に言わなきゃいけないということで株主になりまして、株主総会で経営陣に申し上げたんです。そうしましたら、出てきました回答が、「計画はあります。今、高架化と言っているけど、呼続とかあちらのほうでやるという計画はあります。ですけれども、踏切とかそういったところに関しては市道が絡んできますので、名古屋市と共同でやらないとできない。」というお話で先送りにされているわけです。先ほどの質問に対しても、区長さんなんかは聞き置きますというか、まさに官僚的なお話なので、これ、そういう形だと全然進まないと思うんです。何とかしてほしいです。
- ・もう1つ、私、笠寺観音の近くに住んでいるんですが、笠寺観音「六の市」というのがあるんですが、そこに結構お年寄りがおいでになるんです。来られる方がほとんど市バスを利用して来られる、名鉄を利用してないんです。なぜかといいますと、本笠寺駅にエレベーターがないんですよ。私、株主総会でこれも言ったんですが、「計画には挙がっていますが、まだ先になる。」ということです。
- ・笠寺商店街、あそこも全くシャッター商店街になってしまって、活性化するためにはもっとたくさんの方が集まらないといけないと思うんです。そのためには、お年寄りが名鉄を使ってこちらへ来るような形にしないとイケない。エレベーターを何としても設置してほしいんです。名古屋市からも名鉄に何とかお願いしてほしいと思います。
- ・以上です。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。

【8人目（千種区）】

- ・自分の都合で今日しか来れなかったもので、発言させていただきます。
- ・端的に言うと、公園が欲しいんですけれども。この計画の中では、都市像2、3、1にかかわってくることですけれども。実は私が住んでいる学区は、千種区の中でも人口当たりの公園面積がすごく小さい、非常に小さいところなんです。そうしますと、子どもたちが遊ぶ場所がない、災害時に一時的な避難場所として逃げる場所がない、身近に自然を感じられるような場所がないという、この都市像で書いてあることの反対になってしまうことになるんですけれども。
- ・自分のところで欲しいというだけの話ではなくて、そのときに調べてみますと、名古屋市の統計情報で、学区ごとで人口当たり公園面積がこれだけありますよというのを全市的に見てみると、やっぱり大きいところは、たくさんあるところはあつち、ないところはない。ばらばらになっちゃっているんです。
- ・これ、例えば公園欲しいんですって区役所の会議とか市民の意見を聞くような会議とかで申し上げても、「我々もわかっているんですけれども、お金がないと用地買収もでき

ないし、すぐにはできないので」。せつかく長期的展望に立ったまちづくりということですので、この 10 年、次の計画の中でできないにしても、公園の配置が、すごく大きいところと小さいところの差があまりにも大き過ぎるので、こういうところの環境を是正するとか、実際のところ、少しでも公園をつくっていくような計画を盛り込んでいただけたらありがたいなと思いますので、よろしく願いいたします。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・すみません、早い者勝ちというわけではないですが、最初に挙げていただいた方で一度区切らせていただこうと思います。申し訳ありません。第 3 ラウンドでまたご発言いただける時間がありますので、そちらでちょっと。お待ちください。

【9 人目（天白区）】

- ・南区のタウンミーティングに出席しましたのは、私は長らく南区に住んでおりまして、今両親が南区に住んでおるんですけど。
- ・2 つあります。
- ・1 点は、災害時の対応とか防災について。私と私の両親、兄弟が伊勢湾台風の被災者、被災家族なんですけど、私小学校 1 年生で被災いたしまして小学校に数日間いたんですけども、その当初なかなか食料も十分に回ってこなくて、周りは水だらけということで逃れるところがなくて、結局他府県の親戚の家に私と兄弟が預けられまして、両親は地元に残ったんですけども。
- ・そういう災害を経験して、実際に今大きな地震とか水害とか、高波とか想定される災害が発生する可能性があるんですが、特に市の防災マップとか町内での防災訓練は実施されているんですけども、その被災した後、ずっと学校やどこかの体育館で被災者が長い間暮らせるわけではないので。
- ・東日本大震災の福島の方の、他府県に大分受け入れ地域というのをつくっていただいて、そちらで暮らされている方が大分いたと。だから名古屋市でも、長期間被災した方を受け入れてくれる市町村とどっか連携して、そういう市町村で受け入れてくれる施設をあらかじめ話し合って確保しておいてもらうべきじゃないかなというのが、防災に関する 1 つの提案です。
- ・もう 1 点だけよろしいですか。まだ私の両親が南区に暮らしておりまして、私も毎日様子を見に行っているんですけども、周りの家の中で高齢化が進みまして、結構空き地が目立つんです。さらに、あのあたり町工場が多いものですから、外国人の方が大分入ってきて。そういう状況で、町内会の行事とか、両親が高齢のためになかなか、名古屋まつりのときのおみこしとかそういう役割ができないものですから私が手伝いに行ったりしているんですけども、町内会自体が今のままでは成り立っていかないんじゃないかなという気がいたします。
- ・ごみの問題にしても、外国出身の方は公園でもごみが散らかしっ放しとか、そういう事態が発生して区政協力委員の方が苦勞して片づけてみえたりというのがあって、町内会の役割では担い切れないような問題が出てくると。今後のことを考えていく上で、もう

少しボランティアということを活用して、町内会の枠を超えてボランティアを募って、いろんな地域の助け合いの共助の問題をもっと進めていくべきではないかなと考えております。

- ・以上、2点です。

【コーディネーター】

- ・9人目の方、ありがとうございます。
- ・さっと振り返りますね。
- ・一番最初、5人目の方、相生山の都市計画がちょっと今対応がストップしているんじゃないかというお話。
- ・6人目の方からは、南区に公共交通、地下鉄をというお話でした。
- ・7人目の方からは、先ほどの4人目の方と同じような視点で、渋滞が発生しているような箇所を中心に、名鉄の対応についてという話であります。
- ・8人目の方からは、公園をもう少し増やしてほしいということ。
- ・最後、9人目の方からは、長期化した後の被災者の住まいのことについて、ほかの市町との提携みたいなことが考えられないかということと、持続的な町内会のあり方を見直していくべきではないかというご提案、ご質問だったかなと思います。
- ・市長、まずはお願いします。

【市長】

- ・ありがとうございます。
- ・5人目の方ですが、相生山は今度やるんじゃないかなかったつけ、説明会みたいなのを。

【5人目】

- ・やると言いながら…。

【市長】

- ・止まっとるかね。大体今度はやるはずですけど。
- ・まっとはよやれんかちゅうんだけど、やっぱり。一遍都市計画、あんだけ決めたものを、あんだけのことをやって、あと70メートルだかどんだけだか、あそこで止まるというのは初めてですからね、これやっぱり。
- ・わしはちょっと見たけど、なかなかまあまあええ案でないかとは思いましたけど。はやいとこ提案されると思い、言っときますわ、それ。

【5人目】

- ・市民の意見を聞くという場を、これから積極的に。

【市長】

- ・それはその場で。
- ・やるんだろ、これたしか。12月にやると言ってましたんで。

- ・6人目の方のお話ですが、確かに地下鉄、形式的な、木で鼻をくくったようなこと言うと、国土交通省の承認が要ってどうのこうのいう話になるんだけど、その路線にまだ入っとらんということになるけど、まあしかし、やっぱり僕らでもやりやすいのは、地元から署名運動でもやるかとか、やっぱりそういうのをちょっとやってもらわんと。期成同盟というやつですわ、要は。そういうのをやってもらわんと、また河村が一人で思いつきでよ、ばかやろういってめちゃくちゃ言われるんですわ、これ。

【6人目】

- ・昔は市電が通ったんだから。そこがどうしても必要ですよ。交通の便が悪いと発展しません。何とかして将来はガイシホールに名古屋場所を持ってくるなりやるから、やってくれよ。また頑張ってください。
- ・ほかのこともいろいろあるけど、一番大事なことはやっぱり交通ですよ。南区をかすってるだけなんですよ、路線図を見ると。南区はほかられとるんですよ。だから何とでも将来のために、5年や10年でやれと言うんじゃないんですよ、将来にかけて南区に地下鉄を引くんだという計画を立ててほしい。若い者にバトンタッチがしたいと。頼むで。

【市長】

- ・南区と、守山もそうですけど、地下鉄がないもんで。やっぱり敬老パスについても正直言って不公平だわね、こういう政策をとった場合は。現金の場合はみんな行きますけど、減税とか。だけど、こういうのはなかなか。確かに問題はあるなと思ったりします。
- ・7人目の方の話で、さっきがたの名鉄の話ですけど、これも僕からすれば、何ぞ地域で盛り上げてもらえんかね、署名運動か何かで、期成同盟か何かで。そうするとやりやすい。こういうことがありますって名鉄にも言ってきます、そういうことだったら。そんな人ごとにするな言われやそうかわからんけど、一応やっぱり民主主義になつとるもんで、市民の声を上げてもらうということが。それで上がってくると区長も何ぞ言わなならんようになりますし、わしもそれはそれで名鉄一遍言ってきますわ。
- ・笠寺駅にエレベーターがないということですけど、これは、前もうちょっと南だったか、エレベーターつけてもらったところが、星崎だったかな、あれは。この間つけました。

【7人目】

- ・星崎はあるんですよね。笠寺の駅はないんです。地下道を上がって下がっていかないといけないので、お年寄りが階段がつかって言ったんです。商店街の古いお客さんが、名鉄が通らんから来れなくなったって言っているんです。

【市長】

- ・それも、人ごとばかり言って申し訳ないけど、やっぱりちょっと雰囲気を与えてほしいと。区政協力委員さんの仕組みもありますもんでという、役所にいろいろ言うの嫌がらっせるかわからんけど、そうじゃないよ言うとするの、遠慮せずに言ってくりゃええですわ。

- ・俺はそう金ないですけど、名古屋は財政危機というのほうですから、これ。ものすごい、日本で断トツナンバーワンなんです、稼ぐ都市と。半分トヨタですけど、これ実際はね。だで、ちゃんと投資してかんと、それこそ東京オリンピックの金みたいなのも、下手したら名古屋市が出しとるようなもんですよ、これ。金に色が無いとしてですよ。だで、ぜひ声を上げていただくように。今日頭に入れましたので。
- ・8人目の方の公園の配置のアンバランスですか、これもさっきの話とつながりますが、都市の姿が大分戦後変わってきましたので、一遍この辺のそこをちゃんとやったらええんじゃないの、これ。何やとるか知らんけど。な、これ。公園の。と思いますけど。さっきの小学校とかいろんな社会インフラについて、戦後70年80年大分変わってきますでね、これ。だで、一遍みんなで見直すというタイミングはええと思いますけどね。
- ・9人目の方、長期間受け入れてくれる市町村という。これは、こういうふうで聞いたことはないな。政令指定都市でお互いに助け合おうというのはやとるんですけど、だけどお互いに、名古屋で何かあったときに助けてちょうすかというのはまだ言ったことがないですね、これは。これは確かにそうなので、政令指定都市じゃなくても、近所の市町村でもええわけですけど。これ、今度そう言っときますわ。こういう視点でも入れたらどうだという話。
- ・外国人なんかも多いもんで町内会なかなかいかんと。ボランティアを募るというのは、これ区長ちゃんとやらなかんで。従来型の、区の偉い様方いろいろ骨折っていただいとるけど、そこで手が届かんとこ随分あるでね、どこやらの区でもそんなこと言ってござったと思うんで。ボランティアちゃんと募ると結構やってくれる人おるに、本当にこれ。これはちょっと区長から決意表明。

【区長】

- ・町内会については、確かに数年前までは加入率が8割ぐらいだったんですけども、年々今、区内でも減ってきています。そして、今言われたように外国人の数も増えた。南区全体ではなくて、特定の学区に特に顕著な傾向が見られますけれども、そういうところがあって、なかなか昔ながらの常識では町内会の運営は難しいということも聞いています。
- ・今言われたようにボランティアを募ってやるという方法、それで地元の方も一緒にボランティアの方とうまくやっていけないと結局意味がないものですから、ボランティアの人手だけを募るのではなくて、どうやってやったら地域の方とうまく回っていただけるか、そして手が挙がるかということも含めて考えさせていただこうと思いますので、よろしくをお願いします。

【市長】

- ・それはよう、昔、広報なごやで、あれで募集しろ言って。ほんならぐちゃぐちゃぐちゃぐちゃいって、ようけ来た場合は誰がそれを担当するんだとか、とろくっさいことばっか言ってますね。
- ・ほんで、一遍緑区か何かでやったんですよ、たしか。それも項目を絞って、これは。ものすごく来ましたよ、本当に。あれ以降どうなったか、ちょっと私もしつかりしとり

ませんが。せつかく広報なごやがあつて、南区だよりがあるもので、こういう町内会の、目的を絞るか絞らんか知らんけど、面倒くさがるんですわ、要は。

- 例えば南区でやって1,000人ぐらい来たとしますわね、これ。そうすると、そこにどうやって電話するのかとか、担当はどうするか。そんなこと言いかけるんですよ。さっきのお嬢さんはえらい役所のこと褒めとったけど、そうなっちゃう。だけど、一遍やってみや、本当に。結構ござるに、地域のいろんな問題、目的はこれからいろいろまた相談します言つて。区役所の職員がまずやるだがね、ようけ来た人に、これ。広報なごやで、これ。
- 区長。

【コーディネーター】

- 市長、それぐらいで。

【市長】

- 優しいな。いや、これやらせないかんの本当に。
- もう7~8年前だけど、全市で一遍やりやあ言ったんですよ、ボランティアの募集。僕まあ70だけど、定年になったおっさん連中が、何か力になれることないか思つとる人ようけおるんですよ、実は。だで、市が一遍ばつと募集して、それぞれの特性があるもので、それを分けてということをやりやあ言ったけど、止まってまつとる。

【コーディネーター】

- きっと若者も手を挙げるでしょうね。

【市長】

- 若者もいいですよ、昔のお嬢さんもええがね。

【コーディネーター】

- 市長、すみません。ほかのテーマがあるので、そっちに進んでもよろしいですか。
- じゃ、一言いただく。

【区長】

- ボランティアを募集しましょうというふうになれば、それは広報なごやでもインターネットでも何でもやりますけれども、まず地元の方にボランティアで来てもらつてお手伝いしてもらいましょうか、いいですよと、その方も受け入れてきちんとやっていけそうですよという合意をいただかないと。すぐに募集して、人は集まったけれども、地元、うちは困りますよという話になつてはいかんもんですから、とにかく順序を踏んできちんとやらせていただきますので。募集するとなれば、市長が言われるように広報なごやでも何でもやりますけれども、その前にいろいろ確認はさせていただくというふうに思っています。

【コーディネーター】

- ・きちんと段取りを踏んでと。

【1人目】

- ・別に行政を褒めたわけじゃない、もっと改善の余地はあるって言ったんだよ。誤解しないでね。

【コーディネーター】

- ・叱咤激励と受けとめて。
- ・では、次のテーマに進めさせていただきます。
- ・都市像5と全般、その他ということで、都市像5については「魅力と活力にあふれ、世界から人や企業をひきつける、開かれたまち」ということで、ものづくりや商業、観光、さらにはスポーツとか、あるいは名古屋城の話とか、そういった魅力づくり、あるいは企業とか産業の力をつけると、そんなようなテーマで都市像5表現しております。
- ・それから、ここは1つしか都市像ございませんので、1から4のところで発言できなかったという方でも結構でございますので、ご発言をお願いしたいと思います。
- ・初めての方がいらっしゃったら、すみません、そちら優先して。
- ・お願いいたします。

【10人目（南区）】

- ・防災についてお尋ねしたいと思います。
- ・私が住んでいるところはゼロメートル地帯でございます。何が言いたいかと言いますと、福祉避難所をぜひ検討して、設置をお願いしたいと思いますけれども。先日来の災害で岡山県の真備地区で災害がありましたね。あそこで51人ほど亡くなられましたけど、大勢の方が障害者だった、大半が、51人の中の。
- ・それはそれですけれども、災害が起きたときに障害を持っている人たちが避難する場所、平たい地区だと、水が来て避難場所がないわけです。避難するにしても何も無いのね、知的障害とか自閉症とかもそうだけど、配慮していただきまして、福祉の避難所を検討して、お願いしたいなと思う。健常者と一緒になれないわけですよ、暴れたり大きな声を出したりするのでなじめないものだから、特別な避難場所をつくってほしいなと思います。それが1つ。
- ・あとは液状化対策。ちょっと起こればもうどぼどぼです。ずぼずぼというか。そういう地区に住んでおりますので、当事者ですので、地震が起きたとき液状化現象がどこで起きるかわからないわけです。伊勢湾台風のときに住んでいた人たちが避難したり、それこそ新しくかわってきたことによって、自分たちの住んでいるところがゼロメートルだと知らない人がたくさんおるわけです。鉄筋コンクリートで基礎などをきちんとやっているとところはまだしも、古いところとか、そういうことを知らずに下地がしっかりしていないと、液状化が起きる可能性があります。そういう不安があるわけです。どこで起きるかわからないもので。
- ・そういうことを、さっきがた地震が来るという話ですので、いち早く。どこら辺に池が

あったとか川があったとか聞いとりますけど、うちの前に池があったとか川が流れていたと、今はそういうことがないわけ、埋め立てちゃったもんだから知らない人が多いんだね、ここに住んでいる人が。びっくりするんだけど。そういうことの障害があるので、難しいことかもしれないけど、そういうところに住んでいる人のために周りの調査をしていただいて、昔はこういうところがあったと、そういうところをどうしていくべきかということで、当事者というかな、そういう方々がいれば話をしていかなきゃいけないし。やっぱりみんな不安なんだね、それが一番。どこで起きるかわからない。

- ・札幌の清田地区ありましたでしょ、地震で液状化現象が起きちゃったのね、傾いたりへこんだり沈没したり。あれ、南区でも同じ。どこで起きるかわかれせんもんで、心配なんだね日常生活が。最大の課題だと思うんですけど、それが最大のポイントとっておりますので、ぜひご検討をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。福祉避難所の話と、特に住宅地における液状化対策というお話でしょうか。その2つ、今10人目の方からいただきました。ありがとうございます。
- ・新しい方、手を挙げていただいているので、その方をまず優先してもよろしいですか。
- ・そちらの若い方、お願いいたします。

【11人目（千種区）】

- ・慣れていないので、うまく発言できるかどうか。
- ・防災のことについてですけれども、冒頭市長から伊勢湾台風のほうは大丈夫じゃないかという話があったんですけれども、現実問題をいうと、名古屋大学はスーパー伊勢湾台風を既に想定していると。あとは、現実には大阪では過去最高潮位を超えた被害が今年ありまして、淀川がもうあふれんとするような状態になっていたわけです。なので、伊勢湾台風というのは1つの基準になりますけれども、それを超えるようなものも既に想定として含めるべきではないのかなと。専門家も名古屋大学にたくさんいらっしゃいますので、そこはしっかりと地元で考えていくべきではないのかなと。
- ・あとは、大阪の台風があった後に名古屋市でも大分大きなものがありまして、気象台からは伊勢湾台風並みの高潮になるぞという話が報道などでもありました。ですけど、名古屋市のツイッターを見ると、伊勢湾台風並みという情報は一切ないです。名古屋市からは避難準備情報さえも出ていないです。防潮堤外のほうは避難勧告が出ました。あのときはもう夜に来るということがわかっていた段階で、実際に中川区に避難勧告が出たのは夜です、暗い状態です。避難準備情報なしで避難勧告が出ました。台風も近づいています。実際高潮が来ていた場合にどれだけの人が避難できたのかなと、本当に怖い状態だったと思います。今回被害が出なかったのは運がよかっただけだと思います。なので、そこら辺の防災体制をもう一度見直していただきたいと思います。

【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございます。
- ・あちらの方、まだ一言も。そちらの方先によろしいですか。

【12人目（南区）】

- ・南図書館の利用者の立場でお話しするんですけど、人事面というのか、去年図書館の館長さんが1年で交代したので次の新しい館長さんがおみえになったんですけど、去年もそうだったんですけど、何かお尋ねとか要望とかお出しすると、「私はまだ1年目なのでよくわからないので」というお答えが出てくるんですね。今回も、また新しい館長になったので、また今度の館長も1年目なのでまだよくわからないので、1年たたないと。要望というか話し合いみたいな交流会みたいなものがあるんですけど、したいというお話だったんですけど、そういう感じのお言葉が返ってくるので。
- ・それに、方針みたいなのを各区で持ってて、南区の図書館は、高齢者のまちなので、福祉というのか高齢者向けの図書館、利用をやっていくという形になっていると思うんですけど、そういうものも、去年から社会福祉協議会と連携とっていろいろやってるみたいなお話は聞いたんですけど、また新たに新しい館長さんになると、またそういうことの続きなのか。私、詳しいことは知らないけど、計画的なものがあまり進まないんじゃないかなと思ったりして。それは推測ですけど。1年でかわってしまうといろんな仕事、誰でもそうだと思いますけど、そんなことで仕事が進まないんじゃないかなと横から見て思うんですけど、いかがでしょうか。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。図書館の要望に対する対応のあり方みたいなところ、ご意見いただきました。
- ・あと、まだご発言なかった方で。
- ・マイクをお持ちください。まだ一言も今日ご発言いただけていないので、いただきます。

【13人目（南区）】

- ・米寿の年で、まだ頑張って、国民年金の生活で。今の世の中は上と下との生活が、甚だしく給料が違います。泣いて生活しとる人も大勢みえる。そうやって生活しとるけど、市長、公務員、国会議員でもそうだけど、お役所は給料がどんどん上がって、中流企業以上の給料をもらっとるわけだ。わしらは国民年金もらって苦しい生活しとるわけで。
- ・河村市長がやめると年金がなしになるとか地下鉄の割引が、無料がなしになるとか、いろいろな底辺の人が泣いてみえる声を聞いとるわけです。どうなるね、市長が今度かわると。なしになる。

【コーディネーター】

- ・市長かわるんですか。

【13人目】

- ・市長が選挙やって負けた場合かわるということを言っとるやろ。
- ・もう1つ、市長が年収800万ということを出しとるけど、議会でそれが反対になっ

て通らへんから、市長の資格あれへんがな。どういう原因があるんですか。何とか市長。何や知らんけど、ちょいちょい聞くけど、市長がワンマン過ぎてみんながいいこと言っとらんと。わし、そこらじゅう情報を聞きに回っとりますけど。

【市長】

- ・役人がか。役人がいいこと言っとらん。

【13人目】

- ・役人もそうだし、市民もそうだと聞いとります。
- ・来年、地方選挙でしょ。みんな選挙のときは調子のいいことをどこの党も言っとるわけだわ。さあ当選すると給料上げるようなことばっかで、市長の意見通れへんがね、それ何とかならんかね。わしら最低の生活しとるもん。それで文句が言いたなる。議員さんの給料、よ過ぎやへんか。

【コーディネーター】

- ・13人目の方、ありがとうございます。
- ・あと、今手を挙げていただいているのがお二方。

【フロア】

- ・大切な問題がある。

【コーディネーター】

- ・終了の時間が近づいてまいりまして、どうしようかなと思うんですけれども。

【フロア】

- ・深刻な問題があるんだけど。

【コーディネーター】

- ・すみません、本当に一言で済むようでしたら。一言では済まんなという感じですかね。

【フロア】

- ・やめところ。

【コーディネーター】

- ・じゃ、お三方手を挙げていただいているんですけど、全員お答えいただくのは難しいので、一旦ここで区切らせていただいてよろしいですか。
- ・お手元に意見を書いていただく用紙をご用意していますので、お三方1回か2回ご発言いただいている方でしょうか。すみません、もう一回お当てできるといいんですけど、一回ここで区切らせてください。申し訳ございません。
- ・市長はじめお答えいただきありがとうございます、1点目は福祉避難所の話と、それから住宅

地等における液状化対策、想定以上の被害、災害があったときの対策についての考え方、図書館の要望に対する対応の仕方、4点目はちょっと私にはまとめられません、市長に対するお話がいろいろございましたので。そのあたりの、4人の方のご意見、ご提案について少しお答えいただこうと思います。

【市長】

- ・ありがとうございます。
- ・まず、10人目の方ですけど、福祉避難所ということは、これ、どえりゃあ深刻で重要な問題ですけど。本当は、どういう不自由な方がどこにござるのかということ、近所の人みんなで共有してもええかという問題はあるんです、確かにプライバシーの問題があるもんだ。避難所もそうだけど、避難所行くまでが問題。だで、そこらは結局どうなったのかな。一応資料を共有、何かの条件のもとで共有しようかというふうにはなっとなと思えますけど、これ。福祉避難所はちゃんとつくらないかん。だけど、そこに行くまでが重要だと思います。だで、近所の人みんな、それぞれの不自由なところを全部共有してもええかどうかという、相当深刻な、ちゃんと議論せなかん問題があるんです、これ実はね。
- ・液状化対策は、これ、本当にどえりゃあ重要な問題で、日本最大のゼロメートル地帯を持ってますんで、この名古屋の辺は。どこで津波が起こるかはっきり言ってまだ全然わかつらんし、対策はほとんどしてないというのが現状です。
- ・とりあえずは、今言われたように、自分の家の前に池があつてそこを埋め立てたとかいろいろあるもんで、相当わかつてはおりますけど。今んところわしが防災のほうに言っとるのは、とにかく1軒1軒回つてりゃあと、区役所と一緒に。近所で何があつたかという話をね、市民のそこ。ほんで、そこで聞いてくるだわ言つて。新しいいろんなことわかりますから。大体繰り返しますから。明治ぐらいから、本当はもっと前がええけどって言っとるんだけど、何で行かんのだね、あれ。この間、あのときだけは初めて行ったんだわな、ブロック塀が倒壊したもんで。あのときだけは、一応区役所と防災と土木かな、が初めて行って褒められたとか言つてましたけど。

【フロア】

- ・それは正解だよな。

【市長】

- ・うん。それは、そうです。
- ・これやるんだつたら、南区役所で回つて来やええがね、全部、全戸を学区別に分けて自転車で回つてきゃあ、地元の区政の偉い様なんかとみんなで行きゃようけ回れますよ。ばあ様たちとガラッと開けて「どうだ」言つて、「元気きゃ」いう話、トークもしながらね。みんなから愛される市役所の職員になるぞつて言つとんの、わし。
- ・身近なところの話というのはそういうところから掘り起こしてかないかんの、今学区別にやつとるけど、本当は旧町内ごとにやらなかんですわ、これは。学区はまだ金持ちの人とそうでない人という場所によつてもものすごい違う。旧町内というのは、大体

昔の地域の地形によって名がつけられとるというのが非常に多いです。例えば今池なら今池って、今池中学のところに池があったんですけど。北区なんかでも、そういう旧町名からすると、昔で言うと波止場があったような名前がついとりまして、海があそこまで来とったということがわかるんで、そういうことをやるにはやっぱり区役所が1軒1軒回るだが、みんな自転車で乗って。後で答えてちょ。

- ・ 11 人目の方。伊勢湾台風を超える想定というのは、確かに最近言ってますけど、僕が言っとるのは、とりあえずは。何でかいうと、1,000年に一度の津波が来ると、それでも伊勢湾台風より30センチ低いんです、実は想定で。1,000年以上のやつが来るといかんですけど。だで、とりあえずは伊勢湾台風という、僕も小学校5年だで覚えてますけど、みんな記憶にありますんで、もう一回伊勢湾台風が来たとして、絶対堤防の中に水を一滴も入れんという防災対策ができとれば、一応まず一人の犠牲者も出さんとなるだろうとは言っとる。それよりでかいスーパー伊勢湾台風ということになれば、またこれちょっと別の問題になりますけど、一応そういうふうと言っとるんです。
- ・ この間うちも台風のときに伊勢湾台風とよく似た経路で来た、大阪のほうに行きましたけど。あれと伊勢湾台風を比較せよ言って、何であのときより大分低かったんだと、伊勢湾台風より。水位が大分低かった。気圧が低かったというのが大きいようですけど、気圧が低いと水が吸い上げられて上がるんですわ。伊勢湾台風の気圧のほうが大分低かったと。

【フロア】

- ・ 手短にやって。

【市長】

- ・ すみません。怒られてまった。
- ・ 12 人目の方、図書館の館長。個人的に言うと感じ悪いけど、これちゃんと言ったらなかんよ、本当に。これは役所の最大の問題。

【12 人目】

- ・ 毎年かわることが問題。

【市長】

- ・ そうそう、2、3年でみんなかわってってまうんですよ、これ。だもんで、どうしても無責任になるの、これが。どうしたらええと。

【12 人目】

- ・ 制度改革。

【市長】

- ・ 民営化すればもっと長くやりますよ。

【フロア】

- ・それは問題の論旨を変えてるでしょ。

【市長】

- ・そうやって怒るだろ、また。そこが問題なんだわ。商売やっとする人は1年でかわらんですよ。
- ・確かにそれが一番問題。だけど、1年でころころかわるのはちょっと問題あるぜ、やっぱり。大体2~3年ですけど。これ、ちょっとあと区長に一言言ってちょ。
- ・それから、13人目の方の貧富の差。これはやっぱりひどいね。この間、人事院で上げてちょう上げてちょうばかり。初任給が、愛知県より安いで上げてちょう言うもんで、ほんだでしようがないと言いましたけど。この間テレビでやっと思ったけど、民間5万円下がったらしいじゃないか、これ。そう言ってましたよ、この間NHKでやっと思ったけど。だで、これをどうするかと。わしは800万でやってますけど。
- ・昔、あんまり言うと感じ悪いけど、戦前は地方議員さんもボランティアだったんです。名誉職と書いてあった。戦後、昭和22年に国会法が変わって、国会がようけ給料もらうようになって、それがずっと広がっていったということだわな。

【フロア】

- ・給料分しっかり働いてもらう。

【市長】

- ・働いてもらうということだけど、国会なんか見ると、平安時代みたいになりましたね、完全に。藤原道長みたいになっちゃったということで。わしも商売やってきた人間として、非常にこれが大事なことですわ。納税者を大事にせないかん、商売やっとする人。
- ・とりあえず、こういうことで。
- ・区長。

【区長】

- ・まず、10人目の方からいただきました福祉避難所の話でございますけれども、今現状どうなっているかという、南区内には6つの学区に福祉避難所がございまして、全部で8カ所です。ただ、残念なことにお住まいの学区にはこの福祉避難所がなくて、今見てみると、一番近いところの2つの福祉避難所を合わせても50名ちょっとという収容人員ですので、まだまだ。いろんなところで福祉避難所というのはもう少したくさんの人が入れるように、あるいは箇所を増やしてくれという意見はいただいております。我々もいろんなところで、どちらかという手薄な学区といいますか、福祉避難所が遠くなってしまうところを中心に、少しでも増やしていくようにという取り組みをやってまいりますので、よろしく申し上げます。
- ・液状化対策といいますか、過去にどんな地形であったか、どんな災害があったかということでございますけれども、ただいま防災局を中心に、本年度は3つの区、この中に実は南区も入っておりますけれども、東区と南区と緑区の3つの区で地域防災マップをモ

デル的につくろうと。来年度以降は 16 区全体でつくっていかうというふうで取り組んでおりまして。

- ・この地域防災マップというのはどういうのかといいますと、各学区ごとに地域の方も入っていただいて委員会のようなものを立ち上げていただいて、過去にここはどんな地形であったのか、何があったのか、どんな災害があったのかというのを一旦掘り起こして、現状はこうなっているけれども、実は掘ってみたら昔は池だったよとか沼だったよということをしちんと押さえようと。ただ、それがイコール液状化対策になるかというのと、それはまた別の話ですけれども、現状を知ることが必要だということで、まずは3つの区、この中に南区も入って今、18 学区全部でまだスタートしておりませんが、順番に始めるところでございまして、そういう中でしちんと過去の歴史みたいなものを把握して、これは区民の皆さんにもお伝えしていこうと思っております。

【市長】

- ・家庭訪問、戸別訪問。

【区長】

- ・いやいや、ですから学区の中に入ってやりますので。
- ・12 人目の方からいただきました、「1 年目なのでよくわからん」という返事をしたのがどういう状況なのかあれですけれども、私は日ごろから、1 年目の職員でも「1 年目だから僕はわかりません」なんていう返事をするぐらいなら辞表を書けと言っていますので。誰がということはあまり言いませんけど、どういう状況だったのかということは一回確認します。

【フロア】

- ・そこまで言うなら、そう言ったってください。

【区長】

- ・言いますよ。

【フロア】

- ・あなた、それね、図書館長に対してかわいそうだよ。

【区長】

- ・ですから、図書館長がもし言ったならと言っています。確認します。

【12 人目】

- ・もし言ったならというのは、逆を言うと、言ったこっちを疑うことになるの。

【区長】

- ・いやいや、どういう状況で言ったのかということを確認して…

【コーディネーター】

・それ、現場に区長は居合わせていないので、ちょっと一回丁寧に。

【フロア】

・だから、それはやめといたほうがいい。

【区長】

・ただ、人事配置ですので、1年でころころかわらないように、あんまり1人の人が長くいないようにということは考えて配置して。私は図書館長を誰にするということを決める権限はないですけども。ただ、場合によっては、そりゃ1年でかわるということはあるんです。

【フロア】

・ない人が何で答弁するの。人事権ないがね、あんた図書館長の。

【コーディネーター】

・市長から区長へというお話があった。区長、お答えいただける範囲で結構ですので。

【市長】

・これは直接一遍聞いてみる、わし。その人の名前、後で教えといてちょ。あんたそういうこと言ったのかいって。そりゃいかんぞ言って。

【12人目】

・いや、わからないのはやっぱりわからない。そういうことを言った言わないよりも、1年ごとにかかわることが問題じゃないかって。

【コーディネーター】

・それから、個人の問題もさることながらね。

【市長】

・だけど、一遍は本人にちゃんとと言わんと。

【フロア】

・お役人の態度としてはよくないと思う。

【市長】

・そう受け取られとるということがいかん。

【フロア】

- ・行政の継続性の問題でしょ。だから、1年でかわることもあっても仕方ないんだけど、前任者から後任者にどういう課題があってということがちゃんと伝わっていく。

【コーディネーター】

- ・引き継ぎがね。

【市長】

- ・それからはどうなったの。1年でわからんけどでさようならになったのか、努力するわになったのか。

【12人目】

- ・枕言葉かもしれないですけど。

【市長】

- ・そういう受け取り方はせんほうがええよと、受け取られる。承知しました。

【12人目】

- ・館長教育をよろしくお願いします。

【市長】

- ・はい。
- ・それから、今、悪いけどよ、区長。何遍も言うけど、何で家庭訪問せんのか、これ。これね、福祉の人たちにも声かけれるし、むちゃくちゃええですよ。ほんで、市民が市の職員を愛することになります、そうなる。そうでしょ。またすぐ地域のグループで歩いとるでしょ。この間も話あった。そう言うんだけど、そうすると、決まった人言うて悪いけど、学区連に。大体そういう活動やる人決まるとるわけです、みんな。同じ人が出てきて何遍もそういうことばっかやって、一番かゆいところとか苦しんどるところへ手が届かんのだわ。だで、やっぱ足を運んで心を届けるいうか、行かないかん。どうなるとるんだ言っつて、これ前からもう何遍も言っつてます、無視しとるけど。防災のことだつて、ここまでやってきたんだで、あと家庭訪問してものすごくきめ細かくやらないかんと言っつて。頼むで。

【コーディネーター】

- ・そろそろ今日の終了の時間が近づいておりまして。

【3人目】

- ・すみません、今日避難訓練があつて、気がついたことがあつて言いたいですけど。

【コーディネーター】

- ・一言だけ。マイク、きちんと皆さんに。簡単にお問い合わせいたします。

【3人目】

- ・この人はご存知だと思うんですが、上水道と下水道、つまり仮設トイレのマンホールと上水のマンホールがありますよね。どこにありますか。どこに設置してありますか。

【企画部長】

- ・学校の敷地外。道路。

【3人目】

- ・学校の敷地外ですよ。
- ・今日避難訓練をやって困ったんですよ。通る人がいる、車が通る。そんなところで、実際に災害のときになったら道路を遮断するという話を区役所の人がしましたけれども、果たしてそんなんでいいのかと。学校の中に敷地がないわけじゃないです。道路からちょっと、目の前が学校の校地です。だけど、学校の校地だから上水、下水はさわれないからそういうものをつくっていないのかどうか。そういうことを今日気がつきました。ぜひ学校の校地の中にできるように調整してもらえんかね。できるよね、市長。

【市長】

- ・それはこの間うち気づいて、日本で名古屋初めてですけど、外の配管までは防災になつとるわけ。

【3人目】

- ・そうそうそう、防災仕様だよ。

【市長】

- ・それで、中は違う。そこのところを、少なくともつなぐと。そうなるとうどうなるかいうと、避難所に普通なるんだけど、1階の給食室だとか保健室だとか、普通の上下水、便所、みんな使えるようになります。こんな単純なことがね。やりますけど。

【3人目】

- ・もう1つ、区役所の人が今日みんな応援で来てくれたけれども、実際に鍵が開かないとか最初にとたばたしてる、じたばたしてるんだよね。予算ついたから鍵つくるとかいう話だったけど、実際のときになったらもっととたばたすると思うんだけど、そんなことが今日の訓練で気がついたので申し上げときます。

【コーディネーター】

- ・3人目の方、ありがとうございます。
- ・私の進行があまりよろしくなくて十分お聞きし切れませんでしたけれども、ここで一度質疑応答の時間を終わらせていただこうと思います。ありがとうございます。
- ・最後に、区長、市長から一言ずついただこうと思います。お願いいたします。

【区長】

- ・限られた時間でございましたけれども、さまざまな方面からいろんなご意見をいただきました。十分な答えができなかったことは、本当に申し訳なく思っております。
- ・一番最初に 5 つの都市像という説明をさせていただいて、このタウンミーティングも 16 の区で開催しておるわけでございますけれども、それぞれの区に顔といいますか性格といいますかございまして、全ての区がこの 5 つの都市像を一斉に目指すというふうに私は考えているわけではなくて、どれを重きに置くかということが必要かなと思っております。
- ・5 つあるうち、一番最初にありました障害者、高齢者のみんなが元気という都市像 1 であるとか、あるいは都市像 3 である災害に強く安心・安全というのが特に南区としては力を入れるべきかなと考えておりました、そういったことについて、いろんな場面で南区のキーワードとしては「歴史」と「水害」と「高齢者」の 3 つをきちんと押さえておく必要があるという気持ちでお話しをさせていただくことがあるんですけども、そういった気持ちでまた区政運営に努めてまいりますし、また皆様からもいろいろアドバイスをいただきながら、ご意見いただきながらやっていこうと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。
- ・今日はどうもありがとうございました。

【コーディネーター】

- ・市長、改めて一言お願ひいたします。

【市長】

- ・ありがとうございます。
- ・今日こうやって、ずっと各区でやっとなる各項目が、問題はきちっとフォローされるかどうかということがありましてね、問題は。何だの、河村さん言っただけでしまいかねというふうになるといかに、ちゃんとやりがてら。もし何だったら、わしんどこでも、市長ホットラインというのがまたもう 1 個ありますんで。ネットが使える人はいかんけど、ファクスでもええけど。それで、この間ここでこう言っただけ全然いかんがやというのを送っていただければ、またそれはそれできちっと個別に必ずフォローしますので。

【区長】

- ・市長、しっかり検討します、それは。

【市長】

- ・しっかり検討するかしらんけどよ、家庭訪問どうだ、あんたの意見。

【区長】

- ・相談しないと。私がいいと言って、できるものでもない。

【市長】

- ・ こういうことですわ。これは基本なんだな、実は。1軒1軒回って、御用聞きに回るというのは。これができんと言うんだでよ、わしもわけわからんわ、これ。何が市長だいう話になる。
- ・ ということでございまして、精いっぱいやりますんで、お願いします。
- ・ サンキューベリーマッチ。

【コーディネーター】

- ・ 区長、市長、どうもありがとうございました。
- ・ 今日、全体を通じてお聞きしまして、改めて皆さんのお話を聞いていますと、市として長期的に、大局的に物事をきちんと捉えてほしいという話と、現場で近い区役所として地域の暮らしを支えるというところを丁寧にやってほしいという話と。でも、それだけではなかなかうまくいかないの、今日お集まりの皆さんのような地域の担い手の方が地域でできることをきちっとやっていただくというところと、そこを上手に役割分担しながら進めていくというところが大事なのかなと、今日お話を聞きながら改めて思った次第であります。
- ・ 今回は中間報告、中間案でございしますので、ぜひ皆様には、この後もさまざまな形で、この総合計画がどういうふうになるのかというところを引き続き見守っていただいて、何かお気づきのところがあれば、いろんな方法でぜひお声を届けていただくということがこの計画をよりよいものにするために大切なところだと思いますので、ぜひ引き続きご関心を持って見守っていただければと思います。

(以上)